



## 認定書

国住指第 1230 号  
平成 19 年 8 月 8 日

クリオン株式会社

代表取締役社長 松平 孝治 様

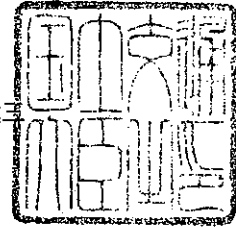
旭化成建材株式会社

代表取締役社長 小林 宏史 様

住友金属鉱山シボレックス株式会社

代表取締役社長 伊藤 敬 様

国土交通大臣 冬柴 鐵三



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項(同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法第 2 条第八号並びに同法施行令第 108 条第一号及び第二号(外壁(耐力壁):各 30 分間)の規定に適合するものであることを認める。

### 記

1. 認定番号

PC030BE-0882

2. 認定をした構造方法等の名称

仕上塗材塗ALCパネル張/木製軸組造外壁

3. 認定をした構造方法等の内容

別添の通り

(注意)この認定書は、大切に保存しておいてください。

## 1. 構造名

仕上塗材塗ALCパネル張/木製軸組造外壁

## 2. 寸法

壁高及び壁幅については、構造計算等により構造安全性が確かめられた寸法とする。

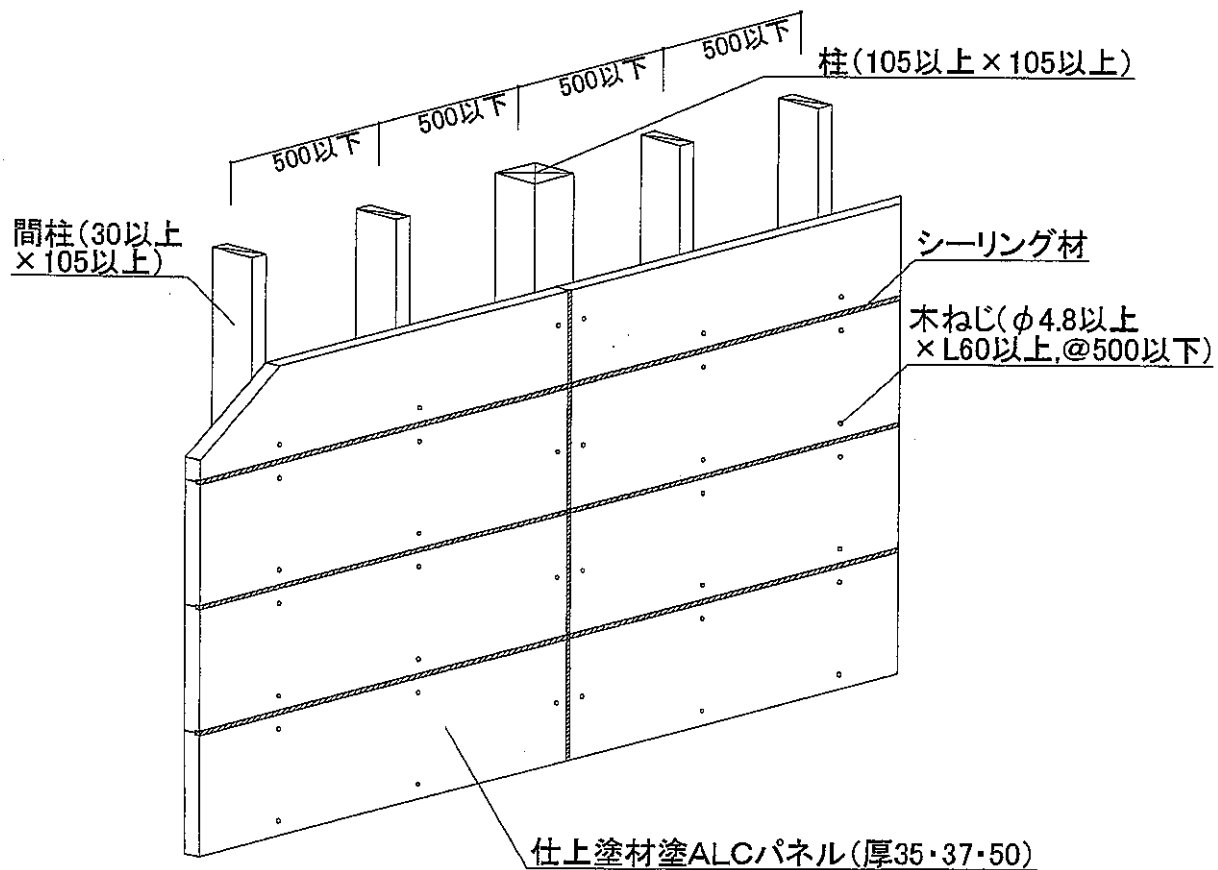
## 3. 材料構成等

| 項                              | 目                           | 製品仕様等  |
|--------------------------------|-----------------------------|--|
| 屋外側被覆材 (ALCパネルの表面に仕上塗材を施したもの。) | ALCパネル                      | 規格<br>JIS A 5416 (軽量気泡コンクリートパネル) の薄形パネル<br>形状<br>平板<br>表面の形状<br>①平滑、②平滑・溝加工、③凹凸加工、④凹凸・溝加工<br>厚さ (mm)<br>35・37・50±2<br>かさ比重<br>0.45 を超え 0.55 未満 (補強材を含まず)<br>幅 (mm)<br>最小 : 600、最大 : 610<br>長さ (mm)<br>最小 : 1,500、最大 : 3,000<br>補強材<br>種類<br>メタルラス (JIS A 5505)、鉄線 (JIS G 3532)、溶接金網 (JIS G 3551)<br>質量 (kg/m <sup>3</sup> )<br>0.7 以上    |
|                                | 仕上塗材                        | 規格<br>JIS A 6909 (建築用仕上塗材)<br>種類<br>薄付け仕上塗材 :<br>外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材<br>厚付け仕上塗材 :<br>外装セメント系厚付け仕上塗材、外装けい酸質系厚付け仕上塗材、外装合成樹脂エマルジョン系厚付け仕上塗材<br>複層仕上塗材 :<br>ポリマーセメント系複層仕上塗材、けい酸質系複層仕上塗材、合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材、防水形合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材、防水形合成樹脂溶液系複層仕上塗材<br>塗布量 (所要量) (kg/m <sup>2</sup> )<br>1.5 以上 (合計)<br>有機質含有率 (%)<br>47 以下 (仕上塗材全体に含まれる有機質量の割合) |
| 屋外側被覆の副構成材料                    | 横胴縁 (ALCパネルを縦張りとする場合に使用する。) | 種類<br>JAS に規定する針葉樹の造作用製材または下地用製材<br>寸法 (mm)<br>厚さ 12 以上、幅 30 以上<br>取付け間隔 (mm)<br>500 以下  |

| 項 目         | 製品仕様等  |
|-------------|--|
| 屋外側被覆の副構成材料 | ねじ、くぎ<br>ALCパネル留め付け用<br>φ4.8 mm以上×L60 mm以上の鋼製またはステンレス鋼製木ねじ<br>横胴縁留め付け用<br>φ2.75 mm以上×L50 mm以上の鉄丸くぎ   |
|             | シーリング材<br>種類<br>アクリル樹脂系、ポリウレタン系、変成シリコン系<br>充填量<br>50g/m以上  |
|             | ALCパネル留め付け用ねじの補修材<br>種類<br>合成樹脂エマルジョン系パテ、セメント系補修材<br>充填量<br>0.1g以上/凹み深さ1 mm当り  |
| 下地材         | 柱<br>種類<br>JASに規定する構造用集成材または針葉樹の構造用製材<br>断面寸法(mm)<br>105以上×105以上<br>取付け間隔(mm)<br>500以下(柱と間柱との間隔)   |
|             | 間柱<br>種類<br>JASに規定する針葉樹の造作用製材または下地用製材<br>断面寸法(mm)<br>30以上×105以上<br>取付け間隔(mm)<br>500以下  |
| 施工方法        | 下地組み<br>土台に柱と間柱を取付ける。この時の柱と間柱との間隔及び間柱相互の間隔は500 mm以下とする。  |
|             | 横胴縁<br>ALCパネルを縦張りとする場合は、横胴縁を柱または間柱と直交する方向に500 mm以下の間隔で配置する。ただし、ALCパネルの短辺方向の目地部には、必ず横胴縁を2本配置する。横胴縁は、柱または間柱にφ2.75 mm以上×L50 mm以上の鉄丸くぎを用いて500 mm以下の間隔で留め付ける。   |
|             | ALCパネル<br>横張り仕様のALCパネルは、φ4.8 mm以上×L60 mm以上の鋼製木ねじ等を用いて柱または間柱に留め付ける。縦張り仕様のALCパネルは、上記の鋼製木ねじ等を用いて横胴縁に留め付ける。ALCパネルの長辺方向周辺部の留め付け間隔は500 mm以下とし、短辺方向周辺部は上記鋼製木ねじ等1本以上で留め付ける。鋼製木ねじ等は、その頭部がALCパネル表面より7~10 mm凹むようにねじ込み、この凹部には、合成樹脂エマルジョン系パテ等を隙間なく充填する。ALCパネル相互の目地部にはシーリング材を充填する。 |
|             | ALCパネルの表面仕上げ<br>仕上塗材の塗布量(所要量)は、合計で1.5kg/m <sup>2</sup> 以上とし、仕上塗材全体に含まれる有機質量の割合は、47%以下となるようにする。   |

4. 構造説明図  
(1) 横張り仕様  
(1)-1 透視図

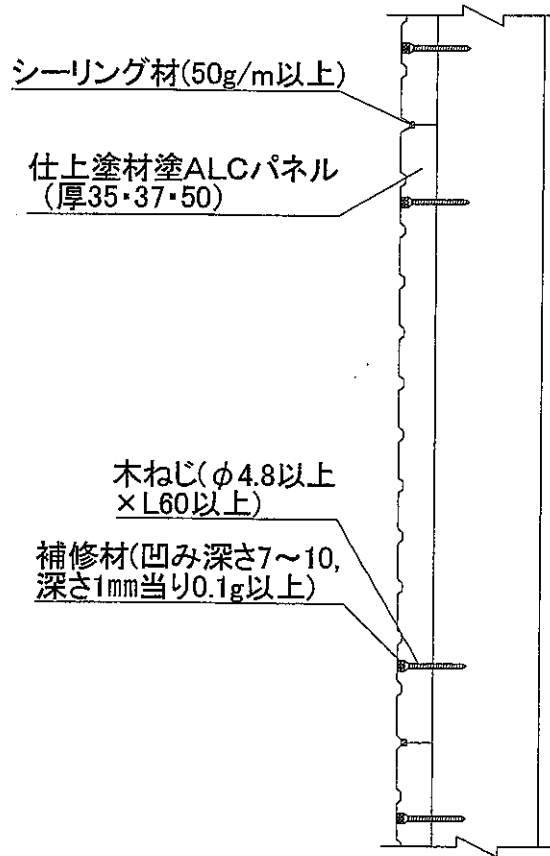
単位(mm)



(1)-2 断面詳細図

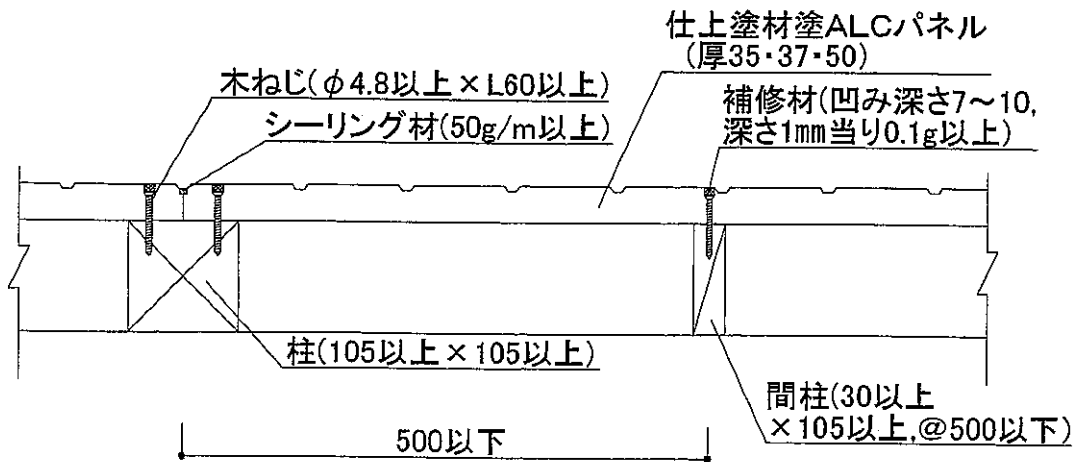
① 鉛直断面詳細図

単位(mm)



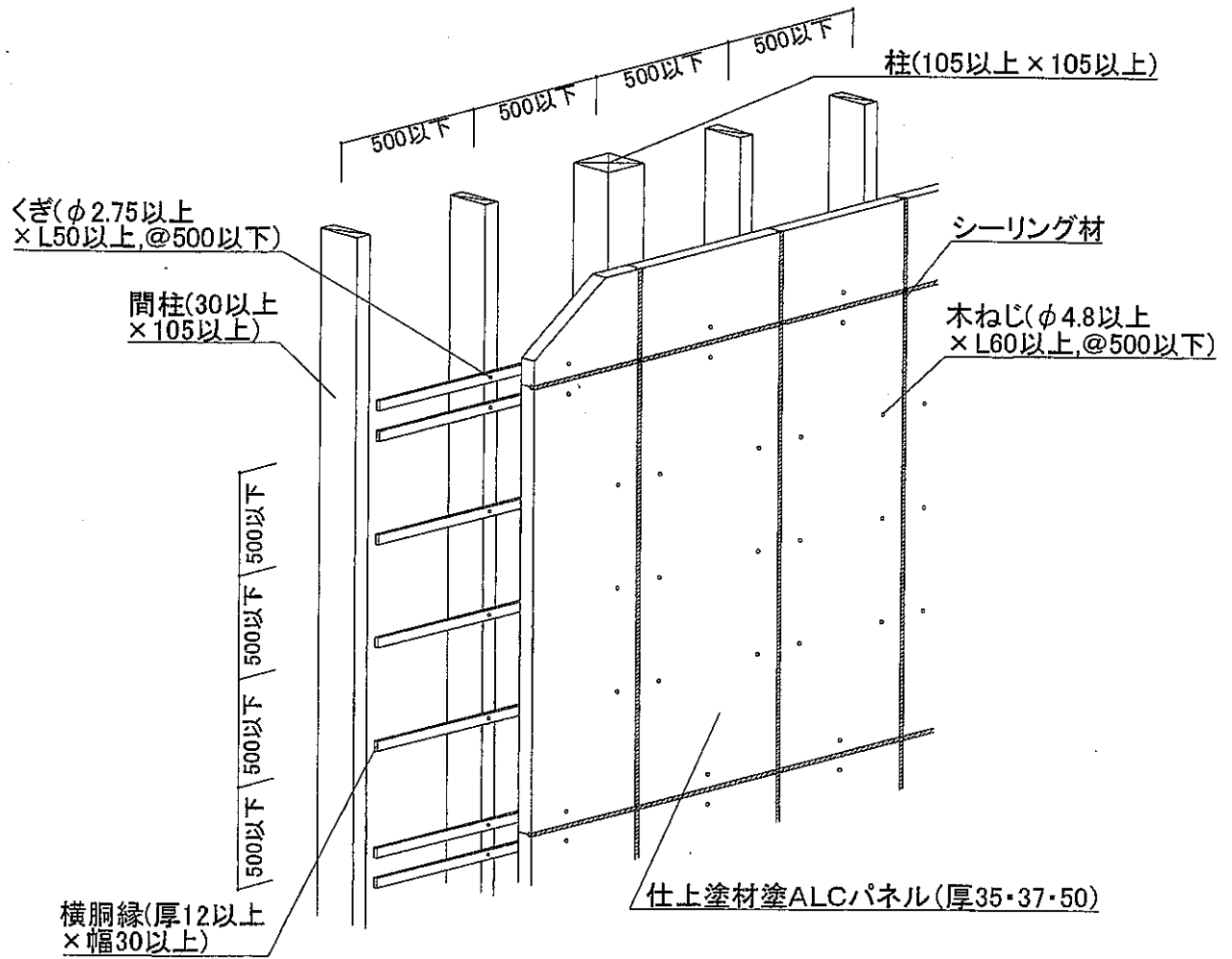
② 水平断面詳細図

単位(mm)



(2) 縦張り仕様  
 (2)-1 透視図

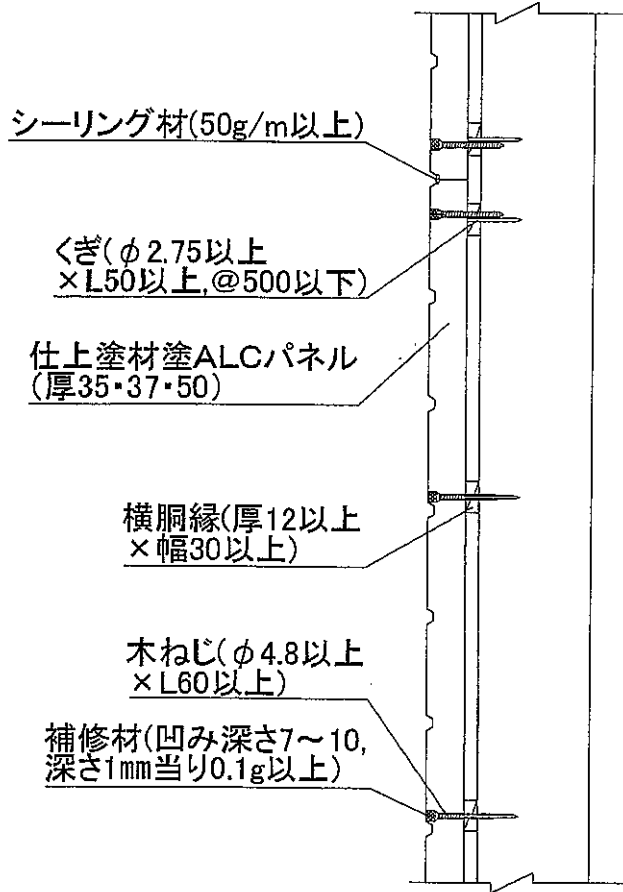
単位(mm)



(2)-2 断面詳細図

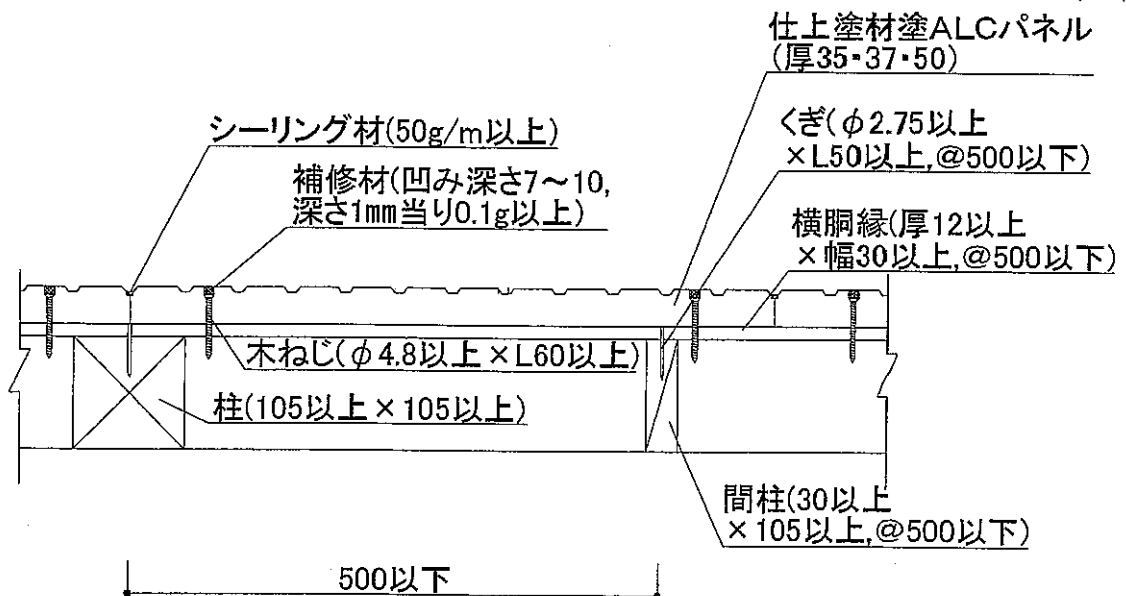
① 鉛直断面詳細図

単位(mm)



② 水平断面詳細図

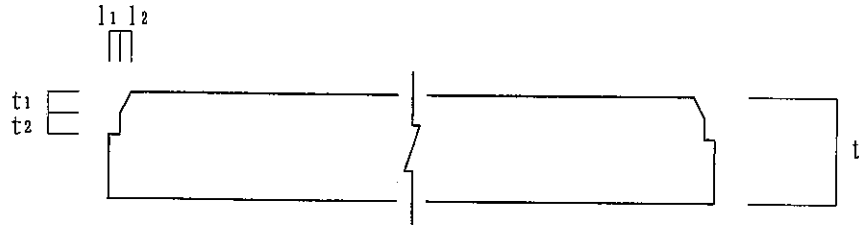
単位(mm)



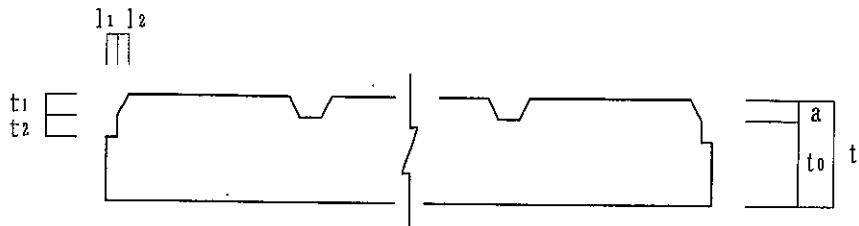
(3) ALCパネルの形状及び寸法

(3)-1 形状

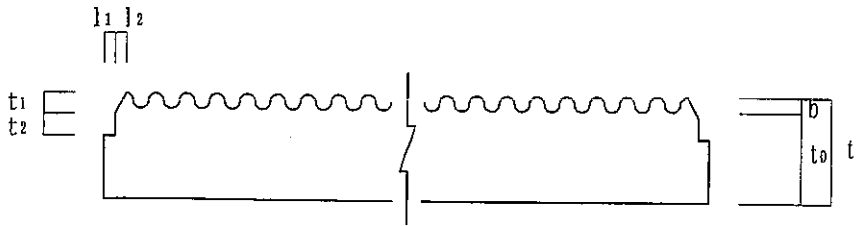
① 平滑



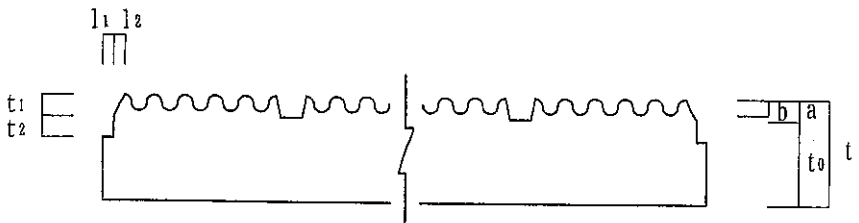
② 平滑・溝加工



③ 凹凸加工



④ 凹凸・溝加工



(3)-2 各部の寸法等

| 形状                       |                     | 平滑         | 溝加工    | 凹凸加工 | 凹凸・溝加工 |
|--------------------------|---------------------|------------|--------|------|--------|
| 厚さ：t (mm)                |                     | 35・37・50±2 |        |      |        |
| 端部の切欠き部の寸法※1             | t <sub>1</sub> (mm) | 7±2        |        |      |        |
|                          | t <sub>2</sub> (mm) | 7±2        |        |      |        |
|                          | l <sub>1</sub> (mm) | 3.5±2      |        |      |        |
|                          | l <sub>2</sub> (mm) | 3.5±2      |        |      |        |
| 溝部の深さ：a (mm) ※1          |                     | -          | 7以下    | -    | 7以下    |
| 凹凸加工の凹部深さ：b (mm) ※1      |                     | -          |        | 7以下  |        |
| 最小厚さ：t <sub>0</sub> (mm) |                     | -          | 30以上   |      |        |
| 溝部または凹凸加工の凹部の容積欠損率(%) ※2 |                     | -          | 4.73以下 |      |        |

※1 被覆材裏面から 37 mm以下の厚さの部分における寸法。

※2 被覆材全体積(端部切欠き部を除く)に対する被覆材裏面から 35 mm以下の溝部または凹凸加工の凹部の欠損容積の割合。



## 5. 施工方法

### (1) 下地組み等

#### ① 下地組み

土台に柱と間柱を取付ける。この時の柱と間柱との間隔及び間柱相互の間隔は 500 mm 以下とする。

### (2) 横胴縁の取付け

ALCパネルを縦張りとする場合は、横胴縁を柱または間柱と直交する方向に 500 mm 以下の間隔で配置する。ただし、ALCパネルの短辺方向の目地部には、必ず横胴縁を 2 本配置する。横胴縁は、柱または間柱に  $\phi 2.75$  mm 以上  $\times L50$  mm 以上の鉄丸くぎを用いて 500 mm 以下の間隔で留め付ける。

### (3) ALCパネルの取付け

横張り仕様のALCパネルは、 $\phi 4.8$  mm 以上  $\times L60$  mm 以上の鋼製木ねじ等を用いて柱または間柱に留め付ける。縦張り仕様のALCパネルは、上記の鋼製木ねじ等を用いて横胴縁に留め付ける。

ALCパネルの長辺方向周辺部の留め付け間隔は 500 mm 以下とし、短辺方向周辺部は上記鋼製木ねじ等 1 本以上で留め付ける。

鋼製木ねじ等は、その頭部がALCパネル表面より 7~10 mm 凹むようにねじ込み、この凹部には、合成樹脂エマルジョン系パテ等を隙間なく充填する。

### (4) ALCパネルの目地処理

ALCパネル相互の目地部にはシーリング材を充填する。

### (5) ALCパネルの表面仕上げ

ALCパネルの目地処理後、薄付け仕上塗材、厚付け仕上塗材または複層仕上塗材をALCパネル表面に塗り付ける。塗り工程、塗り回数、間隔時間等は JASS 23 吹付工事に準拠する。

仕上塗材の塗布量(所要量)は、合計で  $1.5\text{kg/m}^2$  以上とし、仕上塗材全体に含まれる有機質量の割合は、47% 以下となるようにする。